

「マクベス」を知る

マクベス公演がめざましい

そもそも今回の公演は、平成19年の能登半島地震で被災した能登の復興を願って企画されたもの。「お世話になった能登に恩返ししたい。元氣付けるために、能登限定でやりたい」と、無名塾を主宰する仲代達矢さんの強い想いが多くの人の心を動かした。従来のような全国公演ではなく、「能登限定」とすることで、演劇のまち、七尾を全国に発信し、能登のにぎわいづくりのきっかけにしたいとの熱い想いが込められている。

も過去に3回行われたが、他都市を回らない能登限定の公演は今回が初めて。「人口6万人の七尾市に50日間3万人を呼ぶということとは並大抵なことではない。役者を50数年やってきたけれど、こんな冒険は初めて」と仲代さんは話す。

仲代さんがマクベスを演じるのは27年ぶり。そしてマクベス夫人を演じるのは若村麻由美さん。2人の共演は演劇堂のこけら落とし公演以来で14年ぶりとなる。

また、この公演には無名塾が総出演するほか、七尾東雲高校演劇科の生徒や多くの市民ボランティアがエキストラとして参加するなど、市民参加型の公演であることもその特徴といえる。



あらすじ「STORY」

時を超えて、能登の地に甦る、シェイクスピアの世界！

スコットランド王国の将軍マクベスは、反乱軍を鎮圧した帰還の途、3人の魔女に出会い「いずれ、あなたはこの国の王になる」と予言される。そのことを妻に伝えると、マクベス夫人は、王冠を手に入れる「近道」があると彼をそそのかす。それは国王を暗殺すること。悪魔が乗り移ったかのような夫人の言葉に、マクベスは自分を奮い立たせて国王暗殺を決行する。

一夜明け、身の危険を感じた国王の長子マルカムは、隣国イングランドへと逃れる。野望に一度手を染めたマクベスは、有力な政争相手バンクォー將軍をも血祭りにあげる。

王位についたマクベスは、居城で祝賀の宴を催すが、殺されたバンクォーの亡霊が現れ、酷く取り乱してしまう。その席に姿を見せなかった重臣のひとりマクダフは、密かに先王の長子マルカムの逃れたイングランドへと向かっていった。それを知ったマクベスは、マクダフの館を襲い、彼の妻や子どもたちを皆殺しにする。一方、イングランドに逃れたマクダフは、長子マルカムとともに、マクベス打倒の討伐軍を率兵する。

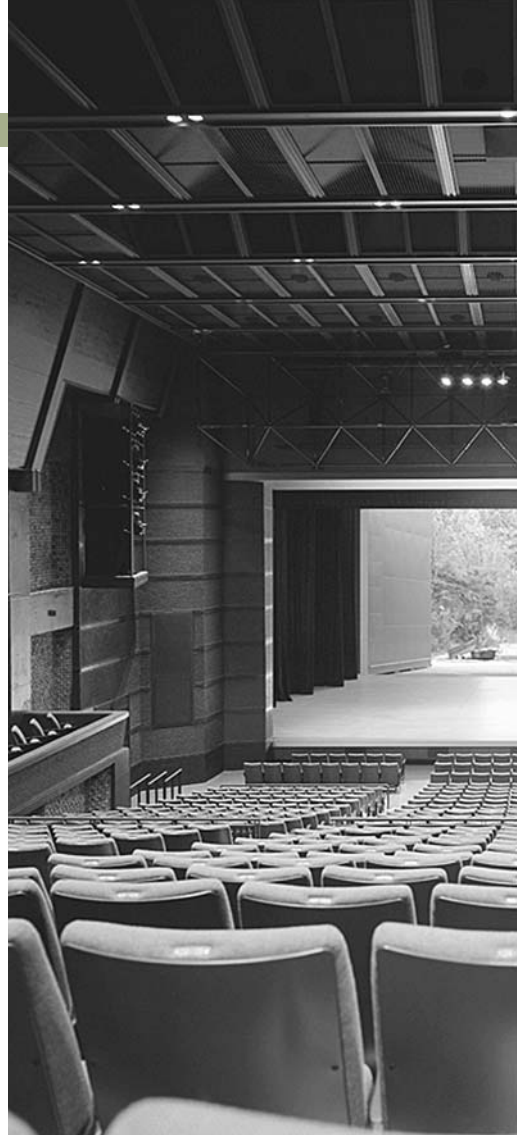
再び会った三人の魔女たちはマクベスに言った。「バーナムの森が動かない限り、マクベスは滅びることはない」と。その言葉を信じ、討伐軍を迎え撃つマクベス。そんな折、これまで気丈に野望の水先案内人を務めてきた夫人が自害する。

最愛の妻を失ったマクベスだが、もう振り返る暇はない。敵がバーナムの森まで押し寄せて来ているからだ。マクベスは「悪の川に身を浸したからには、その川を渡りきるほか手はない」と、討伐軍との戦いに撃って出た。

魔女たちの予言はどうなる？これまで予言どおり、マクベスは国王の地位を手に入れた。「森が動かない限り、マクベスは滅びない」と予言した、その森とは？



舞台後方に広がる森



本物の馬が 舞台を駆け抜ける

構想から14年

演劇堂には舞台奥に大扉があり、扉は外に観音開きで開く。その先に広がるのは、舞台庭と呼ばれる自然の舞台。扉の向こうには自然風景を借景とする、無限の空間が広がっている。「マクベス」公演にはその舞台を活用し、馬が駆けぬける特別な演出が用意されている。

ロングラン公演は今回で4回目となるが、第1回のロングラン公演の企画段階から「実はシェークスピアの『マクベス』が最有力でした。劇場裏の山から本物の馬に乗り、マク

ベスが駆け下りてきて、舞台の3人の魔女と出会う。最後の『森が動く』シーンは、町民の協力を得て舞台の裏手まで展開する。しかし、馬の管理などが大変で断念しました」と仲代さんは語る。

難関を乗り越えた 「相馬野馬追」

難関として立ちほだかった「長期間に及ぶ馬の管理」という壁を乗り越えられたのは、演出の林清人さんの発案による、国の重要民俗文化財「相馬野馬追」の中ノ郷騎馬会

馬と会員が出演することで解決した。林さんが南相馬市出身であったこともあり、幼なじみで騎馬会副会長の中島さんに協力を依頼し、快諾を得た。林さんは「最大のネックの馬の問題は、福島県相馬市から6、7頭を連れてきてもらい、飼育しながら登場させることで解決しました」と話す。

仲代さんは「この公演が成功すれば演劇界の認識を変えることになる」と熱く語る。

大勢の市民エキストラが登場し、馬の群れが舞台を駆け抜ける。能登から発信する、誰も見たことがない「マクベス」。その瞬間を見逃すな。



相馬野馬追

相馬野馬追の起源

(福島県南相馬市)



相馬野馬追の起源は、一千有余年以上前にさかのぼる。相馬藩の始祖である平将門が関八州の武将を集めて下総国で行った軍事訓練で、野馬を放してその馬を敵に見立てて捕らえ、神前に奉納したことに由来する。国の重要無形民俗文化財に指定される相馬野馬追は、相馬中村神社での総大将の出陣式を皮切りに、7月23日〜25日の3日間にわたり、約500余騎の騎馬武者が戦国時代絵巻を繰り広げる。

福島県南相馬市

写真提供: 相馬野馬追執行委員会